令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　33

事務事業名称		公共下水道計画事務(雨水)						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道政策課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　1958(S33)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	下水道法、都市計画法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	下水道事業計画(雨水)見直し等の実施により、雨水整備が促進され浸水被害を軽減する。						
	対象者(受益者)	公共下水道計画区域内の市民/公共下水道計画区域内の事業者						
	現状・課題	集中豪雨等による家屋の浸水や道路冠水の被害						
	事業の概要	下水道法・都市計画法に基づく事業認可を取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(雨水)により、円滑な下水道整備を行うことで浸水被害の軽減に努める。 また、公共下水道計画事務(雨水)に伴い、必要となる資料作成や関係機関との協議、調整、手続き等を行う。						
	年間の主な事務	・下水道法・都市計画法に基づく事業認可申請図書の作成 ・事業認可申請図書の作成にあたり、関係機関との協議・調整 ・事業認可申請図書の申請手続き						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.40人	1.40人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.35人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	10,763	11,493	—	—		
		会計年度任用職員	1,129	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		11,892	11,493	—	—		
	物件費計		21,298	162,795	—	—	171,697	94.8%
歳出計			33,190	174,288	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			21,298	162,795	—	—	171,697	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	公共下水道計画事務(雨水)に伴う資料作成・協議・調整・手続き等を実施。計画手続き完了件数／計画手続きが必要な件数×100	%	100 %	100 %	― %	― %

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	―
指標	―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	―
指標	―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	藤阪元町地区の浸水対策事業を実施するために必要となる下水道事業計画の変更を行った。
R7年度	計画期間を延伸するために都市計画法に基づく事業認可の変更を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	今後も下水道法・都市計画法に基づく事業認可を取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(雨水)により、円滑に下水道整備が実施できるよう取り組む。また、各事業の実施に必要となる関係機関との協議・調整・手続き等についても必要に応じて実施していく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　34

事務事業名称		深谷ポンプ場・下水路維持管理負担金交付事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道政策課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1971(S46)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市上下水道局事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	深谷ポンプ場・下水路の効率的な維持管理が円滑に行われている状態。						
	対象者(受益者)	深谷ポンプ場・下水路を使用している地域の市民/深谷ポンプ場・下水路を使用している地域の事業者						
	現状・課題	深谷ポンプ場・下水路の効率的な維持管理が円滑に行われている必要がある。						
	事業の概要	本市と寝屋川市が共有している深谷ポンプ場・下水路の効率的な維持管理を円滑に行うため、寝屋川市に委託する。						
	年間の主な事務	・深谷ポンプ場・下水路維持管理負担金の支払処理(翌年4月)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.30人	0.30人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	2,306	2,463	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		2,306	2,463	—	—		
	物件費計		6,745	14,530	—	—	15,211	95.5%
歳出計			9,051	16,993	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			6,745	14,530	—	—	15,211	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	深谷ポンプ場・下水路維持管理負担金を交付する。当初予算確保率【当初予算査定額/寝屋川市からの通知額×100】	%	100 %	100 %	— %	— %

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	本市と寝屋川市が共有している深谷ポンプ場・下水路の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。
R7年度	本市と寝屋川市が共有している深谷ポンプ場・下水路の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	今後も深谷ポンプ場・下水路の良好な維持管理を行うため、寝屋川市と協力していく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　37

事務事業名称		淀川左岸用水管理施設維持管理負担金交付事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　上下水道部	課：　上下水道政策課		区分	義務的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち			細区分	非選択的区分		
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2006（H18）年度　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	枚方市上下水道局事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	淀川左岸用水管理施設の維持管理が円滑に行われている状態。						
	対象者（受益者）	淀川左岸用水管理施設を使用している地域の市民/淀川左岸用水管理施設を使用している地域の事業者						
	現状・課題	淀川左岸用水管理施設の維持管理が円滑に行われている必要がある。						
	事業の概要	本市、守口市、寝屋川市、門真市で共有している木屋揚水機場、幹線水路、二十箇水路及び附帯施設の維持管理を円滑に行うため、寝屋川市に維持管理業務を委託する。						
	年間の主な事務	・淀川左岸用水管理施設維持管理負担金の支払い（4・10月）及び精算処理（翌年4月）						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.30人	0.30人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	2,306	2,463	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	2,306	2,463	—	—		
歳出	物件費計	11,518	11,761	—	—	12,613	93.2%
歳出計		13,824	14,224	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		11,518	11,761	—	—	12,613	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 淀川左岸用水管理施設維持管理負担金を交付する。当初予算確保率【当初予算査定額/寝屋川市からの通知額×100】	%	100 %	100 %	— %	— %

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	本市、守口市、寝屋川市、門真市で共有している淀川左岸用水管理施設の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。
R7年度	本市、守口市、寝屋川市、門真市で共有している淀川左岸用水管理施設の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	今後も、淀川左岸用水管理施設の良好な維持管理を行うため、寝屋川市と協力していく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　642

事務事業名称		水道計画事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部	課:　上下水道政策課		区分	行政運営事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	行政運営区分		
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　2016(H28)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	水道法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	安全で良質な水が将来にわたって安定的に供給されている状態。 災害に対する備えができている状態。						
	対象者(受益者)	水道を利用している市民/水道を利用している事業者						
	現状・課題	安全で良質な水が将来にわたって安定的に供給される必要がある。 災害に対する備えができている必要がある。						
	事業の概要	「枚方市水道施設整備基本計画　中間見直し編」(令和5年度)の進捗管理及び次期短期整備計画見直しの検討。 進捗管理及び見直しの検討のための関係課との協議・調整。						
	年間の主な事務	・実施および完了した事業の整理。 ・次年度以降の事業費およびスケジュールの整理。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.00人	2.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.10人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	15,376	16,418	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	323	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	15,699	16,418	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計	15,699	16,418	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	「枚方市水道施設整備基本計画中間見直し編」に基づく、事業実施の進捗管理及び見直し検討のための関係課会議を開催する。	回	7 回	7 回	— 回	— 回

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	—
指標	—

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	次年度の当初予算ため、関係課との協議を対面やデータのやり取りなどで適宜実施し、進捗管理を行った。
R7年度	次年度の当初予算ため、関係課との協議を対面やデータのやり取りなどで適宜実施し、進捗管理を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	「水道ビジョン2022」及び「枚方市水道施設整備基本計画　中間見直し編」に基づく事業実施の進捗管理を行っていく。 現行の「枚方市水道施設整備基本計画　中間見直し編」の期間がR10年度までのため、次期整備計画策定に向けた委託業務に着手する。	R8年度方向性	**拡充**

参考	方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
		現状維持	**現状維持**	**拡充**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　660

事務事業名称		公共下水道計画事務(汚水)						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道政策課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1958(S33)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	下水道法、都市計画法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	下水道事業計画(汚水)見直し等の実施により、公共下水道の整備が促進され、生活排水等が適正に処理されている状態。						
	対象者(受益者)	公共下水道計画区域内の市民/公共下水道計画区域内の事業者						
	現状・課題	公共下水道の整備が促進され、生活排水等が適正に処理されている必要がある。						
	事業の概要	下水道法・都市計画法に基づく事業認可等の取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(汚水)により、円滑な下水道整備を行うことで公共水域の水質の保全に資する。 また、公共下水道計画事務(汚水)に伴い、必要となる資料作成や関係機関との協議、調整、手続き等を行う。						
	年間の主な事務	・下水道法・都市計画法に基づく事業認可申請図書の作成 ・事業認可申請図書の作成にあたり、関係機関との協議・調整 ・事業認可申請図書の申請手続き						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.40人	1.40人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.35人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	10,763	11,493	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	1,129	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	11,892	11,493	—	—		
歳出 物件費計	3,712	23,568	—	—	39,653	59.4%
歳出計	15,604	35,061	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	3,712	23,568	—	—	39,653	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	公共下水道計画事務(汚水)に伴う資料作成・協議・調整・手続き等を実施。計画手続き完了件数／計画手続きが必要な件数	%	100 %	100 %	— %	— %

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和7年度以降の下水道整備を実施するために必要となる下水道事業計画の変更を行った。
R7年度	計画期間を延伸するために都市計画法に基づく事業認可の変更を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	今後も下水道法・都市計画法に基づく事業認可を取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(汚水)により、円滑に下水道整備が実施できるよう取り組む。また、各事業の実施に必要となる関係機関との協議・調整・手続き等についても必要に応じて実施していく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　662

事務事業名称		流域下水道負担金交付事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道政策課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市上下水道局事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	生活排水等が適正に処理されている状態。						
	対象者(受益者)	下水道を利用している市民/下水道を利用している事業者						
	現状・課題	生活排水等が適正に処理されている必要がある。						
	事業の概要	流域下水道事業者である大阪府に対して、構成市として流域下水道にかかる建設費・維持管理費を負担し、円滑な事業運営に資する。						
	年間の主な事務	・流域下水道負担金の支払処理(年6回) ・流域下水道負担金の精算(年度末) ・幹事会・実務者会等会議の出席(8月・11月・1月) ・協議会本会の出席者の調整(12～1月に1回開催)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.20人	0.20人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	1,538	1,642	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		1,538	1,642	—	—		
	物件費計		2,350,315	2,529,646	—	—	2,666,381	94.9%
歳出計			2,351,853	2,531,288	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		182,000	124,400	—	—	219,800	
	その他		190,944	217,307	—	—	63,429	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			372,944	341,707	—	—	283,229	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,977,371	2,187,939	—	—	2,383,152	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 流域下水道負担金を交付する。当初予算査定額/大阪府からの通知額×100	%	100 %	100 %	— %	— %

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	流域下水道にかかる建設費及び維持管理費を負担することによって、生活排水等が適正に処理された。大阪府流域下水道施設に必要な建設費・維持管理費の負担金交付事務を適正に行った。
R7年度	流域下水道にかかる建設費及び維持管理費を負担することによって、生活排水等が適正に処理された。大阪府流域下水道施設に必要な建設費・維持管理費の負担金交付事務を適正に行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	今後も、流域下水道の良好な維持管理を行うため、大阪府と協力していく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	拡充	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　774

事務事業名称		上下水道局経営評価関係事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道政策課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2007(H19)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市水道事業及び下水道事業に関する条例　等						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	上下水道局の経営の安定化・健全化が図られ、市民・事業者等に対し、水道事業及び下水道事業を継続的に提供できている状態。						
	対象者(受益者)	水道事業及び下水道事業の提供を受ける市民・事業者						
	現状・課題	経営の安定化・健全化に向けた取り組みにより、上下水道事業が継続的に進められていく必要がある。						
	事業の概要	・経営計画等に基づく施策の推進、進捗管理 ・上下水道事業の事業効果の点検、経営評価の実施 ・上下水道事業経営審議会運営事務						
	年間の主な事務	・上下水道事業経営審議会の開催(例年2回程度) ・施策評価の実施及び次年度目標設定 ・報酬等の支払い手続き及び支払調書の作成 ・上下水道事業経営審議会委員の選定手続き等(2年ごと)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.50人	1.50人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	9.00人	9.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	11,532	12,314	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	152	152	—	—		
	人件費計		11,684	12,466	—	—		
	物件費計		2	399	—	—	503	79.3%
歳出計			11,686	12,865	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			2	399	—	—	503	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 各施策目標に対する進捗・達成状況の確認 経営評価(上下水道局で行う内部評価及び上下水道事業経営審議会で行う外部評価)の実施回数	回	1 回	1 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	「枚方市水道ビジョン2022」及び「枚方市下水道ビジョン2022」に基づく各施策の進捗管理等を、内部評価(経営評価及び施策評価)と上下水道事業経営審議会での外部評価を行った。
R7年度	「枚方市水道ビジョン2022」及び「枚方市下水道ビジョン2022」に基づく各施策の進捗管理等を、内部評価(経営評価及び施策評価)と上下水道事業経営審議会での外部評価を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	ビジョン2022に示す令和10年度の事業目標に対して、経営審議会にて評価し公表していく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　888

事務事業名称		上下水道政策課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道政策課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外			細区分	行政運営区分	
		施策目標	99.施策体系外			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2021(R3)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市上下水道局事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営が円滑に行われている						
	対象者(受益者)	上下水道政策課職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の運営業務						
	年間の主な事務	・文書管理 ・予算算定 ・物品購入						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.90人	2.90人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	22,295	23,806	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		22,295	23,806	—	—		
	物件費計		920	524	—	—	1,177	44.5%
歳出計			23,215	24,330	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		31,012	27,472	—	—	37,584	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			31,012	27,472	—	—	37,584	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	各課との連絡調整や事務の進行管理、公用車の維持管理などを適正に遂行した。
R7年度	各課との連絡調整や事務の進行管理、公用車の維持管理などを適正に遂行した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	引き続き、円滑な事務執行に努めていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―